

病院名・診療科等	医療生協わたり病院
担当責任者	渡部 朋幸

概要／方針等

福島医療生活協同組合員と地域の皆様の「安心して誰でもがかけられる病院」をつくる運動により、1975年10月に42床で開設しました。1977年には2病棟88床。1981年に3病棟168床となり、現在の4病棟196床、内科・消化器科・循環器科・外科・小児科・リハビリテーション科などを備える病院となりました。
地域の第一線医療機関として、救急の患者様の積極的な受け入れとともに、開放型病院として、開業医の先生との共同診療の実施、在宅療養患者様の支援にも取り組んでいます。
「一人は万人のために、万人は一人のために」の医療生協の精神をもとに、組合員・地域住民のすべてのいのちを大切に、支え合う医療の実現をめざしております。

学習目標

【一般目標】

- (1)患者様の問題点を的確に捉えられる基本的、総合的な診療能力を身につける
- (2)患者さんの立場に立ったチーム医療を実践する能力を身につける
- (3)医療の社会性と医師の社会的な役割を自覚し、健康や暮らしを守る立場からよりよい医療を追求する視点を身につける

【行動目標】

- 1、毎日の記録(ポートフォリオ)をつけ、指導医と共にチェックと振り返りを行うことができる。
 - 2、内科疾患の患者さんを受け持ち、毎日の病歴聴取、基本的身体診察を行い情報を収集できる。
 - 3、基本的なバイタルサインの測定とその解釈ができる。
 - 4、評価と治療計画(検査・治療など)を立案、文献考察し、診療録記載を行うことができる。
 - 5、カンファレンスに参加をし、受け持ち患者さんのプレゼンテーションを指導医および他職種向けに行うことができる。
 - 6、往診に同行し、見学したケースについて感想をまとめることができる。
 - 7、2週間の最後に学習したことをまとめ、スライドを用いて発表し、振り返ることができる。
- (テーマや方法などについては指導教官と相談し決定する)

テキスト	特に指定はありません
参考書	「内科学」(朝倉書店) year note(メディックメディア)等
評価方法	ポートフォリオ、態度評価、研修まとめの発表をもとに、形式的・総括的評価を行う。
その他(メッセージ等)	この福島で地域住民の健康を守るため、最前線で共に診療をしたいという思いを持ったみなさん、実際にその目でしっかりと見て、体感してください。スタッフ一同お待ちしております！

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

- 1週間のスケジュール例
- (月)午前:オリエンテーション(スケジュール説明、院内案内、電カルオリエン等)、病棟
午後:病棟・受け持ち患者紹介
 - (火)午前:新入院カンファレンス・病棟・救急車対応
午後:病棟・救急車対応・心電図カンファレンス
 - (水)午前:新入院カンファレンス・病棟・救急車対応・他職種カンファレンス
午後:病棟・研修医カンファレンス見学・全科メディカルカンファレンス
 - (木)午前:在宅往診
午後:病棟・救急車対応・臨床倫理カンファレンス
 - (金)午前:英文抄読会※・新入院カンファレンス・病棟・救急車対応
※The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 等
午後:病棟・腹部エコーレクチャー

※希望により、実習内容や日程などフレキシブルに対応します

朝開始時刻 朝礼は8:30～
終了時刻 指導教官との振り返りが終了し次第 (おおよそ16時30分～17時頃)

【実習担当指導医】※各診療科の代表者のみ記載

- 渡部朋幸/副院長(内科・循環器内科)
- 遠藤剛/院長(緩和ケア内科)
- 佐藤武/副院長(内科・リハビリテーション科・循環器科)
- 渡辺秀紀(消化器内科)